

別れの季節、それぞれの旅立ち



発行 東谷地区まちづくり協議会
編集 まちづくり協議会広報部
責任者 嶋川昭代
所在地 小倉南区木下704-1 東谷市民センター内

令和6年3月15日
(金曜日)

問い合わせ

東谷市民センター
TEL/FAX 093-451-0217
平日・土曜 9:00~17:00
<http://higashitanikoho.sakura.ne.jp/>
Mail to: higashitani.cc@silk.ocn.ne.jp

平尾台はるはなび
3月23日(土)開催
予備日 3月24日(日)
場所：平尾台ソラランド

ご縁に感謝 伝えきれないありがとうの気持ち



東谷市民センター館長 馬場 純子

春の足音が聞こえてくる季節となりました。別れの春、出逢いの春、人と人が行き交う季節のなかで、大変お世話になった東谷を、とうとう離れる時がやってきました。寂しいです。お一人おひとりの顔を思い浮かべながら、ペンを執る今でも実感が湧きません。記憶に残る館長になれたでしょうか。

振り返ってみると、5年前期待と不安を胸に着任した時の事を思い出します。前日は、それぞれお別れ、なかなか寝つけず朝方まで起きていました。指の負傷により外していた指輪をはめたため、病院行きとなり、紫色になり腫れだしたため、病院行きとなり、一睡もできないまま何もなかったかのように出勤となりました。処置した指には、包帯を巻いての辞令交付式となり忘れられない館長デビューでした。東谷の皆さんは、優しい方ばかりで地域愛に溢れ、

「市民センターが元気なら」「地域も元気」を合言葉に、まち協と協働しながら頑張ることができたのも縁あって出会った多くの方々のお力添えのおかげです。また、くじけそうな時も、職員さんから「東谷の館長として5年の任期を全うしてください。支えま

「市民センターが元気なら」「地域も元気」を合言葉に、まち協と協働しながら頑張ることができたのも縁あって出会った多くの方々のお力添えのおかげです。また、くじけそうな時も、職員さんから「東谷の館長として5年の任期を全うしてください。支えま

自治会活動応援事業者表彰

2月21日(水)に北九州市自治会活動応援事業者表彰式が小倉昭和館であり、令和5年度は、東谷地区から久一建設(株)が表彰されました。日頃より、自治会活動の発展に貢献していただきありがとうございます。

地域コミュニティ活性化を目的として、自治会活動に寄与し、住みよい地域づくりを継続して支援されている事業者を表彰する制度で、令和2年に創設されました。毎年、東谷地区からも表彰されてます。

- 令和2年度 三菱マテリアル(株) 東谷鉱山(現 UBE三菱セメント)
- 令和3年度 小倉鉱業(株)
- 令和4年度 医療法人杏和会 平尾台病院
- 令和5年度 久一建設(株)

3年間お世話になりました



東谷駐在所 所長 井野 佑紀

この春に任期を終えることになりました。おかげさまで、観光祭、東谷フェスティバル、野焼き、例大祭等様々な行事に参加させて頂くことが出来ました。東谷の皆さまには、3年間、本当にお世話になりました。

私の着任当初はコロナの渦中であり、なかなか、皆さまとお会いする機会も限られていましたが、それでも最後の1年程は皆さまと

密に仕事をさせて頂くことが出来ました。正直な話をしますと、着任前の私は、北九州全域に全く良いイメージはありませんでした。反社会的勢力の活動や、全国を震撼させた重大事件などが過去にあり、北九州は「修羅の国」と揶揄されていたからです。

しかし、着任してすぐに、東谷の方から温かく迎えられる、私のイメージは180度変わりました。東谷は私、家族にとつての第二の故郷となりました。余談ですが、コロナ禍において感染症を阻止すると地区の益々のご発展をお祈

言う名の妖精(妖怪?)が流行し、その甲斐あってかは判りませんがコロナも5類感染症と定められ、以前の日常を取り戻している状況です。このアマビエは、私と同じ熊本県の出身です。皆さまには、コロナと一緒にやっていくアマビエのような警察官として、この先も私のことを忘れないで頂いたら幸いです。

今後も、野焼き、観光祭など家族でまた東谷に伺いたいと思いますので、その際は是非お声掛けして頂ければと思います。最後にありますが、東谷地区の益々のご発展をお祈

平尾台の野焼き 無事終了

春の風物詩「平尾台の野焼き」が、2月10日(土)に行われました。これから草木が芽吹き、初夏には緑豊かな平尾台が見られます。従事していただいた皆さま、朝早くからお疲れさまでした。そして、ありがとうございました。



火入れ前の集会



火入れ



野焼き完了

安心・安全パトロール
・3月22日(金) 20時~
・4月12日(金) 15時~
東谷市民センター 出発!

「妊産婦・乳幼児なんでも相談」
ちっちゃいたまご
3月26日(火)
10:30~11:30
★母子健康手帳・バスタオル持参
場所：東谷市民センター和室
問合せ：小倉南区役所保健福祉課
TEL 951-4125

4月	3月
12日(金)	18日(月)
11日(木)	17日(日)
10日(水)	16日(土)
8日(月)	15日(金)
6日(土)	14日(木)
5日(金)	13日(水)
3日(水)	11日(日)
30日(土)	10日(土)
26日(火)	9日(金)
25日(月)	8日(木)
23日(土)	7日(水)
22日(金)	6日(火)
18日(月)	5日(月)
17日(日)	4日(日)
16日(土)	3日(土)
15日(金)	2日(金)
14日(木)	1日(木)
13日(水)	31日(水)
12日(火)	30日(火)
11日(月)	29日(月)
10日(日)	28日(日)
9日(土)	27日(土)
8日(金)	26日(金)
7日(木)	25日(木)
6日(水)	24日(水)
5日(火)	23日(火)
4日(月)	22日(月)
3日(日)	21日(日)
2日(土)	20日(土)
1日(金)	19日(金)

東谷コミュニティ カレンダー

3月の絵手紙

絵手紙教室 東谷市民センター和室
3月22日(金) 10時~お気軽にどうぞ

笑顔
はい

渡邊 叔子 さん 作

東谷健康づくりコーナー

「健康寿命で楽しい人生を送ろう!!」

新型コロナが落ち着きを見せ始めると、それまでおとなしくしていたインフルエンザや感染症が出始めていますが、私たち健康づくり部会グラウンドゴルフ部は活動することに致しました。



健康づくり部会
グラウンドゴルフ部
下條 光次

日頃の健康づくりでは運動が大切になります。健康寿命とは、人の手を借りないで日常生活を送れる生存期間の事を言います。その一つとして高齢者に最適なスポーツ「グラウンドゴルフ」を奨めます。その他にウォーキングを始め、ニュースポーツとして、高齢者で出来る競技を行政も健康増進の取り組みを進めています。

東谷地区でも三年間出来なかった、東谷まちづくりカップ「グラウンドゴルフ大会」を開催することに致しました。現在の高齢者は、コロナの関係等で家に引きこもりがちの方も大勢おります。まず外に出る事、人との会話をもって楽しく過ごしましょう。皆さまの参加お待ちしております。

第12回東谷まちづくりカップ争奪戦

グラウンドゴルフ大会開催

3月30日(土) 受付9:00~9:30

場所:東谷興農会グラウンド

(雨天時は興農会体育館でディスコン開催)

※申込は隣組長へ!!

(市民センターでも受付可能です...無制限)



新春「健康祈願」ウォーキング

3月23日(土) 9時受付(東谷市民センター)

10時出発

市民センター~木下の楠の木(参拝)~
大清水神社(参拝)

※申込...東谷市民センター(451-0217)へ



「写真でみるひがしたに歳時記」



2/16 高齢者サロン「ディスコン」



2/16 パトロール



2/20 クラブ登録説明会



3/1 ふれあい昼食会

今年度最後のふれあい昼食会では、内尾会長と馬場館長のご挨拶がありました



東谷市民センター
職員
高尾 美佳子

出逢いに感謝

平成30年度より東谷市民センター職員として、勤めさせていただきましたが、早くも6年が経ちました。歳を取ると1年が早いと言いますが、その通りです。東谷市民センターは行事が多い事もあり、たくさん経験させていただきました。この歳で新人として、初めての事を覚えるのが大変でしたが、たくさん失敗等を繰り返しながら、なんとかここまで来たものだと、自分で自分をほめてあげたいと思います。ほめて

てくれる人がいないので、東谷市民センターに勤めさせていただき、その間東谷のたくさんの方達と、知り合うことが出来たことが、私の財産だと思えます。ここで働かなければ、話すことなどなかった人話をし、食事をして。今年度で東谷市民センターから異動する馬場館長とも、5年間一緒にお仕事をさせていただきました。助けていただき感謝です。人と人との出会って素敵です。ところどころで私のようなものが、東谷まちづくり新聞に原稿を書いたのかという、退職をすることになった為です。遅くなりませんが、たくさんの方に支えられ、ここまで東谷市民センターに勤めさせていただき、ありがとうございます。

東谷まちづくりメール会員募集!

令和6年度も東谷地区まちづくり協議会広報部会の活動を支援して下さる「東谷まちづくりメール会員」を募集します。
◆個人会員 (年会費 1,000円)
◆賛助会員 (年会費 3,000円)
※会費はまちづくりだよりやホームページ作成などの活動費の一部とします。
◆特典...まちづくり新聞のメール配信やまち協のイベント等の情報をメールでお知らせします。その他特典あり!!
◆お問い合わせ 東谷市民センター ☎451-0217

史跡探訪 特別編

東谷郷土誌「次世代に残すべき緑豊かな東谷の歴史」 発刊記念ミニセミナー開催

昨年12月は寒い日が多く散策は行いませんでしたが、12月に発刊した東谷郷土誌の個人協賛していただいた方々へのミニセミナーを行いました。演題は「志井の名前の起こりと四井」についてです。志井は母原のお隣の集落で小倉市以前の旧行政区では企救町に属していました。

志井は日田彦山線沿線に発達した町で多賀神社を中心に古い歴史を持った町内です。

下方(下志井)、中方(中志井)、辻方(辻志井)、上方(上志井)の四つの組があり、多賀神社の秋の例大祭では四つの組が交代で神社の神様に奉納するご飯を炊く水を汲む四つの井戸があります。井戸は今も残っていてその水を使っています。

下方の一の井戸は、志井小学校裏手で多賀神社北側の谷筋の谷川沿いにあります。中方の二の井戸は、中志井公民館から100mほど南側の県道沿いに金網に囲まれて在ります。辻方の三の井戸(辻志井の井戸)は、二の井戸からさらに県道に沿って南に200m進み右手に消防団の小屋がありそこを右折して進み突き当りの竹林手前の水田脇に小さな石組の井戸があります。上方の四の井戸(上志井の井戸)は、茶屋の岩倉観音方面への途中左折して山裾の池の岸边にあります。

四つの井戸は地元の歴史愛好家の方々が建てた木柱があり、更の上志井の井戸には志井の四井の由来が罹れた説明板も建てられています。以上、志井の名前の由来は今も残る神事で使われる四つの井戸にあります。

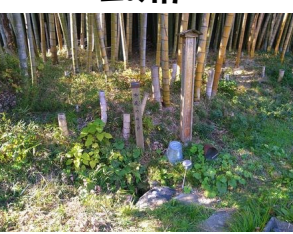
(文責: 西田 順一)



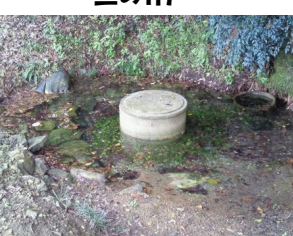
一の井戸



二の井戸



三の井戸



四の井戸